



新潟大学歯学部設立50周年を祝して

新潟大学長 高橋 姿

この度、新潟大学歯学部が設立50周年を迎えたことに、学長として心からお祝いを申し上げます。

新潟大学歯学部は昭和40年（1965年）に設置され、以来今日まで日本海側唯一の国立大学歯学部として、本邦の歯科学領域の教育、研究、臨床のリーダーとしての牽引役を務めてまいりました。平成16年からは口腔生命福祉学科も設置し、歯学科と二学科体制となり、今春には歯学科では第46期生を、口腔生命福祉学科では第9期生を輩出しています。卒業生たちは地域から日本全体までの歯科医療界、さらには世界の医療へと貢献しています。

言うまでもなく、本邦は世界一の長寿国であり、長期継続的な少子化傾向も加わって、人類史上かつてない超高齢社会に突入しています。これからは単に長寿だけではなく、老いてなお元気に過ごすことが可能な社会、健康長寿社会の形成に取り組まなくてはなりません。その為には、食物をしっかりと噛んで、美味しさを味わい、食べることで、周囲の人々との会話を楽しむことは極めて基本的かつ重要な要件となります。即ち、歯科医療はこれからの健康長寿社会の達成に無くてはならないものです。そのような現状を把握し、歯学部では広い教養教育、高度な専門性は言うに及ばず、ますますグローバル化している国際社会にも対応可能な高度専門職歯科医療人の育成を積極的

に推進してきました。

この度の設立50周年の節目に先立ち、歯学部では大規模な研究棟の改修が終了しました。新装となった研究室は機能性の高い構造となり、研究力の一層の向上が期待されます。新しい研究室において、個々の研究課題のみならず、学際的・共用的な研究課題にも取り組み、併せて教育の充実をお願いします。教育においては、Problem-Based Learning：PBLの導入により課題発見・解決型の学習法とし、学生達の自発的な学修姿勢を養成しています。同時に、海外での臨床実習の機会も格段に増加し、グローバルな視点に立った全人的歯科医療への気付きを促進しています。

本学歯学部教員とその卒業生たちは、これまでも社会のニーズに対応した先進的な取り組みを行ってきました。これからも時代の要望を的確に把握して、次の100周年を目指して大きく飛躍していただきたいと願っています。本学の基本理念である自立と創生のもとに、次世代の高度専門職業人、歯科学研究者の育成に努めていただき、新潟大学の発展にこれまで以上に貢献していただきたいと祈念いたします。

関係の各位におかれましては、これまで以上に本学歯学部へのご指導とご支援をお願いして、歯学部50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。